



全ての  
働く人々に  
安全・健康を

特別民間法人 中央労働災害防止協会  
総合案内



**JISHA**  
Japan Industrial Safety & Health Association

**中災防**  
中央労働災害防止協会



**SAFE WORK  
SAFE LIFE**

# はじめに

会長

つつい よしのぶ  
筒井 義信



中央労働災害防止協会(中災防)は、1964年の設立から半世紀以上にわたり、国や産業界との緊密な連携のもと、労働安全衛生水準向上の推進役として、安全衛生活動に係る技術サービス、研修・セミナー、情報発信等を展開してまいりました。また、全国規模の経済団体、各種業界団体、業種別の労働災害防止団体、各都道府県の労働基準協会等を会員とし、わが国のすべての産業に対して企業経営における「安全第一」を強く訴え、その啓発と実現に努めてまいりました。

そのような中で、わが国における労働災害発生件数は、関係者のたゆまぬ努力により長期的には減少してきておりますが、産業構造の急速な変化や雇用形態の多様化、職場の高齢化等が進む中で、新たな安全衛生上の課題も顕在化してきたところです。

こうした状況を受け、政府の「第14次労働災害防止計画」(2023~2027年度)では、少しでも労働災害発生件数を減少させ、誰もが安全で健康に働くことができる職場環境の実現に向けて、就業構造の変化および働き方の多様化に対応した対策等が重点事項として挙げられています。

これらの課題解決に向けては、経営トップの強いリーダーシップのもと、現場の安全衛生意識の高揚および安全衛生管理体制の確立等を通じた現場対応力の強化を柱として、自主的な安全衛生活動の充実に最大限の努力を注ぐことが不可欠です。

中災防といたしましても、わが国の安全衛生水準の向上という社会的使命を果たすべく、長年培ってきたノウハウや専門性を最大限に活かして企業ニーズに即した各種サービスを提供していくほか、政府、安全衛生関係機関、業界団体等と従来以上に連携・協力し、活動をより一層強化してまいります。

今後とも引き続き、当会へのご理解とご協力をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

理事長

たけごし とおる  
竹越 徹



中災防は、働く人々の安全と健康を守るため、事業主が行う安全衛生活動を支援し、労働災害の防止に寄与する労働安全衛生に関する専門家集団です。

中災防は、1964年に労働災害防止団体法に基づき、労働安全衛生に関する中心的な団体として誕生し、2000年には、国の行政改革によって、公共的使命のもと、財政的に自立したうえで、公益と収益のバランスを取りながら自らが持続的に成長し続ける「特別民間法人」として生まれ変わりました。

設立より半世紀以上にわたり、国の施策と事業場をつなぐ橋渡し役として安全衛生に係るさまざまなサービスを展開し、安全で健康かつ快適な職場づくりを支援しております。

近年では、価値観の多様化、高年齢労働者の増加や人手不足の深刻化など、働く職場の環境や働き方が大きく変化しています。それに伴い安全衛生法令や規則の改正も行われ、さらなる自主的な安全衛生管理体制の強化が求められています。

中災防では、これらの状況を踏まえ、よりタイムリーかつ積極的に労働安全衛生に関する動向を捉え、労働災害の防止に向け高い使命感を持って、サービスに創意工夫を重ね、働く人々や事業主の方々、学生や研究者の皆さまなどすべてのステークホルダーの安全衛生活動、さらにはわが国の安全衛生水準の向上にお役に立てるよう努力してまいります。



わたしたち中災防は、明日の安全衛生を考え、安全・健康・快適な職場づくりを応援します。

すべては働く人々の笑顔のために



安全で健康に  
働くことができる  
職場環境の実現



安全衛生の  
水準を向上し  
労働災害をゼロに



自主的かつ  
継続的な  
安全衛生活動  
の定着



### セミナー・講師派遣

安全・健康を担う  
人材の養成

セミナー開催や専門講師の派遣を行い、現場で役立つ知識や手法の定着を支援し、安全衛生を担う人材を養成します。

### 技術サービス

専門技術で  
現場の課題解決をサポート

現場の課題に応じた診断や測定、改善提案など、専門家による技術的な支援を通じて、安全衛生管理を後押しします。

### 情報シェア

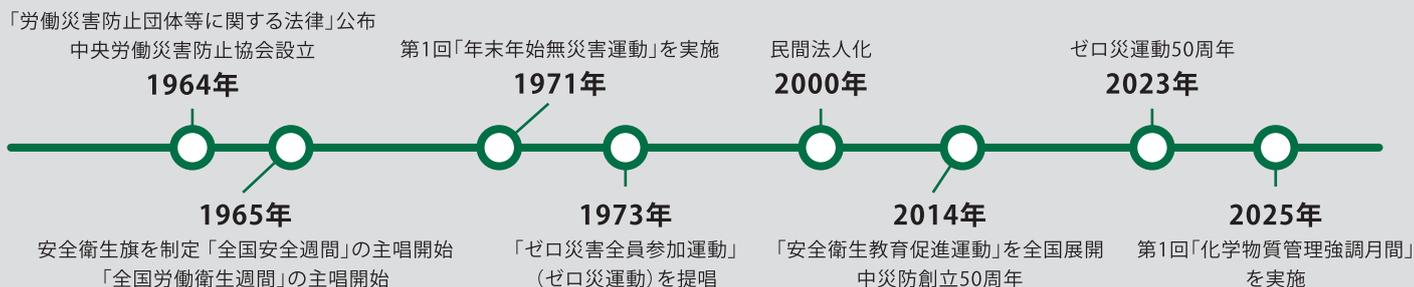
最新かつ確かな  
トピックを発信

安全衛生に関する最新の情報や実務に役立つ知見を、イベントやWEBサイト、書籍等の出版などを通じて広く共有します。

## + 中災防が提供する3つのサポート +

中災防は、「安全衛生に関する多種多様なセミナー・講師派遣」「専門技術を駆使した技術サービス」「最新かつ確かな情報発信」を通じて、事業場の安全衛生活動を総合的にサポートします。

### 沿革 ~主なあゆみ~



安全・健康を担う人材の養成

# セミナー・講師派遣

職場の安全と健康を支える人材の養成を目的に、階層や分野に応じた多彩な研修・セミナーを全国で開催しています。



## 経営トップ層向け

安全衛生を自ら推進するために必要なトップの在り方と知識を学ぶ

経営者、総括安全衛生管理者、事業部門の責任者といった経営トップ層が、健康経営の視点を持って安全衛生活動において力強いリーダーシップを発揮できるよう、安全衛生の最新の知識や教養が得られる講義に加え、参加者同士の情報交流の場も提供する、セミナーを開催しています。



## ゼロ災運動／KYT(危険予知訓練)

ゼロ災推進のキーパーソンを養成する

会社全体で災害ゼロを目指すゼロ災運動と、作業前に危険を予測・認識するKYT(危険予知訓練)は、職場の安全意識を高め、労働災害の防止と安全文化の醸成に効果があります。事業場における運動推進の中核となるキーパーソンを養成するさまざまな研修を開催しています。

【ゼロ災運動とは】ゼロ災運動(ゼロ災害全員参加運動)とは、中央労働災害防止協会が1973(昭和48)年から提唱しているもので、人間尊重の基本理念に基づいて厳しく一切の労働災害を発生させず、全員参加の努力と協力を積み重ね、安全と健康を先取りして、人間(ひと)を中心とした明るくいいきとした職場づくり・人づくりを進める取り組みです。



## 健康づくり／メンタルヘルスケア

心とからだの健康と快適な職場を実現する

働く人の健康づくりやメンタルヘルスケアを進めるには、事業場での計画づくり、体制整備、教育の実施が欠かせません。そのため、職場内で推進役となる担当者や産業保健スタッフ、管理監督者を対象に研修会を開催するとともに、事業場で開催する教育には講師を派遣し、健康で快適な職場づくりを進める人材を育成します。





セミナー情報

## 講師派遣

事業場が抱えている課題を解決するための安全衛生教育や講演を、経験豊かな安全衛生専門家が事業場に伺って実施する、出張研修です。オーダーメイドで事業場の課題やニーズに細かく応えます。

### 実施例

- 安全衛生教育
- OSHMS／リスクアセスメント
- 機械設備の安全化
- ゼロ災運動の導入・推進
- 化学物質管理
- 健康づくり／メンタルヘルスケア

## 指導者の養成

### 安全衛生教育センター

労働安全衛生法第63条に基づき、労働災害や職業性疾病の防止のために、労働安全衛生に関する指導者や専門家を養成することを目的として昭和48年に東京、昭和53年に大阪に、労働省（現厚生労働省）により設立され、中央労働災害防止協会がその運営に当たっています。宿泊施設を整えた研修施設で、職長教育や特別教育を行うインストラクターなどの指導者の養成を行っています。これまでに約30万人が各種講座を修了し、全国の企業等において安全衛生活動を推進する指導的立場で活躍しています。



東京安全衛生教育センター



大阪安全衛生教育センター

## 安全衛生管理

### 職場全体の安全衛生・労働衛生を牽引する

安全衛生スタッフ、ライン管理者等を対象に、安全衛生の基礎知識や職場で活かせる実践手法を学ぶ研修を開催しています。安全配慮義務、衛生管理者の実務、ヒューマンエラー、熱中症予防など、多岐にわたる研修会・セミナーを開催しています。

## リスクアセスメント／OSHMS／ISO45001

### リスクアセスメントの実務者を養成する

事業場におけるリスクアセスメントの実施や、安全衛生管理の仕組みである労働安全衛生マネジメントシステム（OSHMS）の構築・実施、OSHMSの国際規格であるISO45001の構築・実施に向けた研修を開催し、事業場で即戦力となる人材を養成します。

## 機械安全

### 初心者から技術者まで、機械設備の安全化を学ぶ

機械設備による労働災害を防止するため、危険源の同定、リスクの見積り・リスク低減措置の検討など、機械包括安全指針に基づくリスクアセスメントの実践的手法を中心に機械安全を学ぶ研修を開催しています。機械の設計技術者・生産技術管理者をはじめ、安全スタッフ、経営トップなどさまざまな対象者に広く対応しています。

## 化学物質管理

### 自律的な化学物質管理に対応する

化学物質のリスクアセスメント、リスク低減措置の検討など、化学物質による労働災害の防止に直結する知識・実務能力を習得し、自律的な化学物質管理を任せられる人材を養成します。

## 法令に基づく研修

労働安全衛生法令・通達で規定されている安全衛生教育について、主に各地区安全衛生サービスセンターで開催しています。

専門技術で現場の課題解決をサポート

# 技術サービス

豊富な知識と経験を持つ専門スタッフが、診断や測定、分析など、安全で快適な職場づくりのための安全衛生活動を技術的に支援します。



## 安全衛生診断

危険箇所を洗い出し、改善策を提案

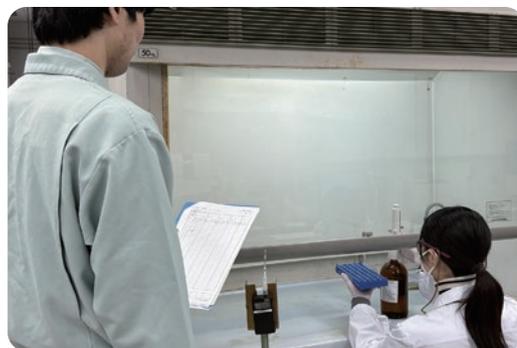
知識・経験の豊富な安全管理士・衛生管理士が事業場を訪問し、職場を回りながら、安全衛生管理の状況、設備や作業方法などについて問題点を見出し、改善・整備に必要なアドバイスを行います。診断結果は後日、わかりやすい報告書にまとめて提出します。



## 作業環境測定

作業環境を測定し、改善を支援する

作業環境測定士が事業場を訪問し、粉じん、有機溶剤、金属類、特定化学物質など法令で定められた有害物質のほか、作業場の騒音などについて測定を実施します。測定結果は報告書にして提出し、改善措置の提案も行います。



### 労働安全衛生 マネジメント システム

(第三者認証)

ISO45001  
JIS Q 45100



安全衛生  
マネジメント  
システム  
審査センター

労働安全衛生マネジメントシステム (OSHMS) の国際規格ISO45001、およびISO45001に4S (整理、整頓、清潔、清掃) 活動や危険予知 (KY) 活動、健康確保の取り組みなどを要求事項に加えた日本独自の規格であるJIS Q 45100の認証審査を実施しています。また、認証機関として公益財団法人日本適合性認定協会 (JAB) の認定を受けています。労働災害防止団体として創立から60年以上にわたって安全衛生活動を支援してきた実績に裏付けられた質の高い認証審査を行っており、認証を取得した事業場から次のような意見をいただいています。

- ・ 第三者の視点で審査を受けたことにより安全衛生活動が活性化した
- ・ 全社一丸となって認証取得を推進したことで安全衛生意識の向上につながった
- ・ 働く人の意見をOSHMSに反映した結果、良好な職場風土を醸成することができた

事業場の声

また、ISO45001等の規格開発および改訂において、日本代表エキスパートの派遣や、JIS原案作成団体等として関与しています。



技術サービス一覧



## 安全行動調査

ヒューマンエラーの傾向を見える化する

ヒューマンエラーの傾向を見える化し、不安全行動の防止を図るものです。質問票に「はい」「いいえ」で答えることでその人がどのようなエラーを発生しやすいのか、どのような性格的・行動様式の特徴があるのかを把握します。結果は、個人ごとの診断表のほか、集団集計表、集計グラフなどで示します。職場の安全意識の向上や行動目標の設定、安全教育など、さまざまな安全衛生活動に活用されています。



各種技術サービス実施後に  
その結果に合わせた教育も実施可能です。



## ストレスチェック

ストレスチェックの実施から  
職場環境の改善まで、トータルにサポート

制度施行前の2002年からストレスチェックサービス（ヘルスアドバイスサービス）を実施しています。ストレスチェック結果の見方や活用方法の提案に加え、集団分析結果を用いた職場環境改善の社内研修（講師派遣）など、中災防ならではの総合的なサービスを提供します。



## エイジフレンドリー

高齢労働者の労働災害防止対策

近年、高齢労働者は増加の傾向にあり、労働災害に占める高齢労働者の割合も高くなっています。高齢労働者の労働災害を防止するため、加齢に伴う労働災害リスク、転倒セルフチェック、健康・体力の維持向上に向けた生活習慣を学ぶ研修に講師を派遣するなど、専門家による支援を行っています。

# 技術サービス



化学物質管理支援

## 専門家の派遣

### 安全管理士・衛生管理士・ 作業環境測定士の派遣

安全管理士・衛生管理士が職場を回りながら問題点を見出し、必要なアドバイスを行う「安全衛生診断」、作業環境測定士が事業場を訪問し法令で定められた有害物質や作業場の騒音などを測定する「作業環境測定」を実施しています。

### ゼロ災運動／KYT

事業場におけるゼロ災運動の導入・展開を支援するため、社内研修や安全衛生大会の講演に専門家を派遣します。研修では、業種や階層、現状の活動状況に応じたオリジナルカリキュラム・教材を作成し、受講者が主体的に学べるよう工夫しています。

### 健康づくり／メンタルヘルスケア

事業場の健康づくり、メンタルヘルス対策、高齢労働者の安全衛生など、健康でいきいきと働ける職場づくりを支援するため、豊富な経験と実績を持つ講師が事業場に伺い、ご要望に応じた内容で研修を実施します。安全衛生大会や衛生委員会での講話も行っています。

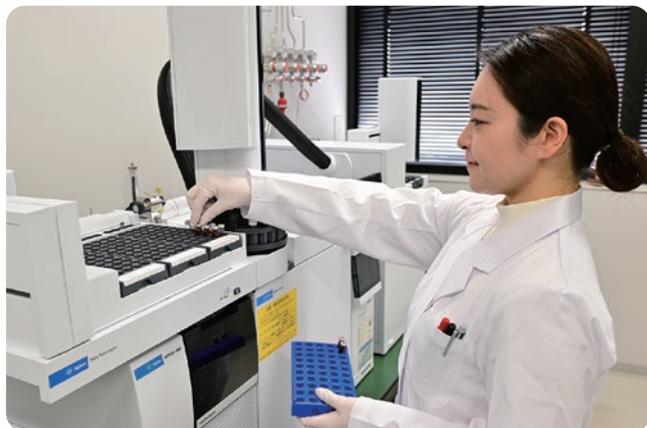
### 化学物質管理専門家・ 作業環境管理専門家の派遣

化学物質の個別規制の適用除外認定を受けようとする事業場向けに、化学物質管理専門家を派遣して評価を行い、法定の評価書を作成するサービスを行っています。また、作業環境測定の評価の結果、第3管理区分とされた作業場所を持つ事業場向けに、作業環境管理専門家を派遣して作業環境改善等の措置の適用可否を点検し、意見書を作成するサービスを行っています。

## 有害物質の分析 (作業環境試料、尿・血液等試料)

### 豊富な実績に基づく確かな分析

作業環境測定や個人ばく露測定に係る空気中有害物質の分析、特殊健康診断やばく露評価のための尿、血液、毛髪等の生体試料の分析、建材中・空気中の石綿分析を行っています。また、サンプリング法、分析法の開発なども行っています。



## 個人ばく露測定

### 労働者ごとの化学物質ばく露状況を測定

労働者の呼吸域にサンプラーを装着して、作業時間中の化学物質のばく露の程度を測定します。溶接ヒューム濃度測定、第3管理区分の作業場所で用いる呼吸用保護具の選定のための測定をはじめ、濃度基準値設定物質の確認測定やリスクアセスメント対象物に係る作業のリスクアセスメント等の測定・分析に対応しています。

最新かつ確かなトピックを発信

# 情報シェア

イベント、WEBサイト、各種出版物などを通じて、事業場の安全衛生活動に役立つ最新かつ確かな情報を広く発信しています。



大会・緑十字展



## 全国産業安全衛生大会

安全衛生関係者が全国から集う一大イベント

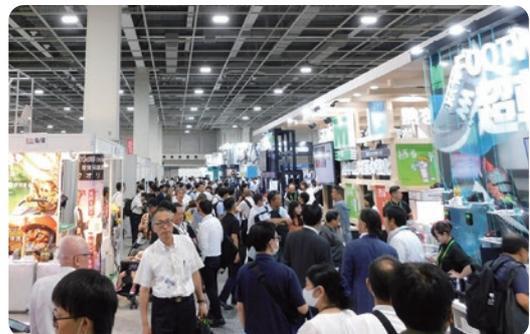
1932(昭和7)年の「第1回全国産業安全大会」に端を発する、全国規模の安全衛生イベントです。講演や事例発表など多彩なプログラムを通じて安全衛生の最新情報を発信します。働く人の安全と健康づくりに携わる人々が「知恵の貸し借り」を行う絶好の機会となっています。



## 緑十字展

安全衛生に関する製品・技術・情報を一堂に

1968年に第1回を開催し、全国産業安全衛生大会と同時開催している、安全衛生分野で国内最大級の専門展示会です。保護具や作業環境改善機器、健康管理に関する最新の製品・技術・サービスが一堂に会します。労働災害防止、快適な職場づくりに役立つヒントが満載です。



## 全国安全週間、全国労働衛生週間、年末年始無災害運動ほか

安全衛生を広く周知し、職場の取り組みを支援する

全国安全週間は「産業界における自主的な労働災害防止活動を推進するとともに、広く一般の安全意識の高揚と安全活動の定着を図ること」を目的として1928(昭和3)年から、全国労働衛生週間は働く人の健康の確保、増進を図り、快適に働くことができる職場づくりに取り組む週間として1950(昭和25)年から、それぞれ毎年続けられている歴史ある週間です。中災防は主唱者として、厚生労働省とともに各週間を提唱し、さまざまな手段により周知・広報活動を行っています。また、年末年始無災害運動は、働く人たちが年末年始を無事故で過ごし、明るい新年を迎えることができるようにという趣旨で、1971(昭和46)年から中災防が主唱する運動です。各週間・運動の期間に合わせて特設サイトを開設し、関連するさまざまな情報を掲載するほか、図書・用品の販売キャンペーンを展開し、事業場における取り組みを支援しています。



# 情報シェア

## 安全と健康



情報提供一覧

### 図書・用品の販売

月刊誌「安全と健康」「安全衛生のひろば」をはじめとする定期刊行物、安全衛生をテーマにした図書・小冊子、法定教育のテキストのほか、安全衛生の基本をわかりやすく表現したポスター・のぼりなどを企画・制作・販売しています。

#### 月刊誌



#### テキスト



#### ポスター



#### 用品



中災防 図書用品



## 国際事業

### 日本の労働安全衛生を海外へ

アジアを中心とした国々や海外日系企業の労働安全衛生水準向上を目的に研修会や専門家派遣などを実施。海外の安全衛生機関と連携し、日本の取り組みや経験を学ぶ機会を提供しています。また、海外の法規制や先進事例を調査し国内へ発信しています。



国際関係サイト

## 調査・研究

### 時代の変化を捉え、知見を社会に還元する

産業構造や労働環境の変化に伴う安全衛生管理の実態、あり方等について、調査・研究を実施しています。調査・研究で得られた知見は報告書等にとり、WEBサイトで公表しています。ガイドラインや指針の基礎となったり、事業場における研修教材に活用されるなど、広く社会へ還元しています。

## WEBサイト、メールマガジン

### 最新の安全衛生情報や研修会情報をいち早く

WEBサイトでは研修・セミナーをはじめとする事業の詳細や、関連情報を集約した特設サイトを豊富に展開しています。メールマガジンでは研修会開催情報や図書・用品情報などを、分野・地域別にタイムリーに配信しています。



# 中小規模事業場 への支援



## 中小規模事業場 安全衛生サポート事業(無料)

労働者がおおむね100人未満の製造業、第三次産業、鉱業および農業の中小規模事業場を対象に、専門家が訪問し現場確認・アドバイスを行う「個別支援」、複数の事業場(工場・店舗など)が集まる場で研修会や講演を行う「集団支援」を実施しています。いずれも無料です。

## 中小規模事業場 安全衛生相談窓口(無料)



中小規模事業場を対象に、専門的知見を持った相談員が安全衛生に関するご質問・ご相談にお答えします。東京本部のほか、全国の安全衛生サービスセンターに相談窓口を設置しています。

## ■ セミナー・研修会等割引サービス

労働者が300人未満で、かつ労災保険を適用している中小規模事業場を対象に、セミナー・研修会や安全衛生技術サービスを利用しやすくするため、一定の要件を満たした料金を割引するサービスを実施しています。

## ■ 中小企業無災害記録証授与制度

中小規模事業場が自主的に安全衛生活動を進めるうえで目標となるよう設けている制度です。経営者と従業員が一丸となって安全衛生活動を進め、無災害記録を達成した事業場に、「無災害記録証」を授与します。授与した事業場はWEBサイトで公表しています。安全衛生活動に積極的に取り組む事業場として社会的に認知されるとともに、社員の安全衛生意識が向上する効果があります。

## ■ 中小規模事業場労働安全衛生評価事業 (愛称:JISHAグッド・セーフティ・カンパニー)

基本的な安全衛生活動とそれを継続するための基盤ができていのかどうかを評価し、その評価を登録する制度です。登録した事業場はWEBサイトに公表しています。

## ▶ 賛助会員制度 (約5,400事業場)

賛助会員制度は、中災防の人材育成・技術サポート・情報発信を通じた労働災害防止活動を支援し、安全で快適な職場づくりに共に取り組む事業場の全国的ネットワークです。

〈さまざまなコンテンツで安全衛生活動を支援します〉

### ● 研修セミナー・専門技術などのサービスが会員価格

安全衛生に関するセミナー・研修会の受講、安全衛生診断や講師派遣などの専門技術サービスを、会員料金で利用できます。

### ● 「全国産業安全衛生大会」へのご優待

加人口数に応じて、参加費をご優待します。

### ● 会員・賛助会員専用サイト(会員タウン)

安全衛生活動に役立つさまざまな情報をご提供しています。

### ● 最新の安全衛生情報をお届け

定期刊行物、キャンペーンポスター、安全衛生図書・用品等の配布  
法令改正や労働災害防止に関する最新情報、実践事例、先進的な安全衛生対策などを掲載した月刊誌を毎月お送りします。また、全国安全週間、全国労働衛生週間、年末年始無災害運動の時期に合わせて、「安全の指標」等の書籍やキャンペーンポスターなどの用品をお届けします。

### ● 会員専用の相談フリーダイヤル

フリーダイヤルの「安全衛生ホットライン」を設置し、安全衛生に関するご質問・ご相談に対して専門知識を有する相談員がお答えします。

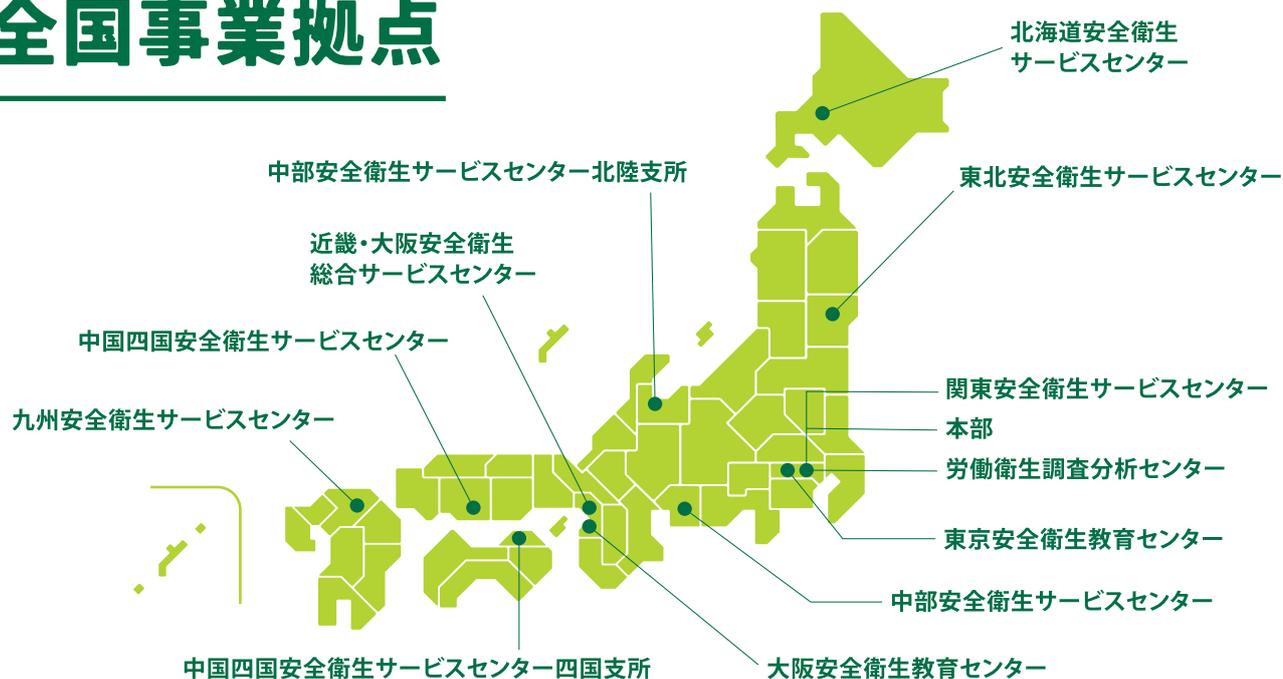
## 賛助会員へのご入会

BECOMING A MEMBER

- ・いつでもご入会いただけます。(年度途中の入会の場合、会費は月割りになります。)
- ・年会費は1口50,000円、従業員数50人未満の事業場は1口40,000円です。入会金・消費税はかかりません。
- ・事業場単位での入会となります。(企業単位(本社)ではありません。上記特典の利用につきましては、ご入会いただきました事業場単位となりますので、ご注意ください。)
- ・入会をご希望の方は、右のQRコードから新規申込フォームによりお申し込みください。▶



# 全国事業拠点



## 本部

〒108-0014 東京都港区芝5-35-2安全衛生総合会館 / 〒108-0023 東京都港区芝浦3-17-12吾妻ビル9階

## 地区安全衛生サービスセンター

安全衛生の身近なパートナー

### 北海道安全衛生サービスセンター

〒064-0919 札幌市中央区南19条西9丁目2-25  
TEL:011-512-2031

### 東北安全衛生サービスセンター

〒980-0011 仙台市青葉区上杉1-3-34  
TEL:022-261-2821

### 関東安全衛生サービスセンター

〒108-0023 東京都港区芝浦3-7-12シグマビル1階  
TEL:03-5484-6701

### 中部安全衛生サービスセンター

〒456-0035 名古屋市熱田区白鳥1-4-19  
TEL:052-682-1731

### 中部安全衛生サービスセンター北陸支所

〒930-0857 富山市奥田新町8-1ボルファートとやま9階  
TEL:076-441-6420

### 近畿・大阪安全衛生総合サービスセンター

〒550-0001 大阪市西区土佐堀2-3-8  
TEL:06-6448-3450

### 中国四国安全衛生サービスセンター

〒733-0003 広島市西区三篠町3-25-30  
TEL:082-238-4707

### 中国四国安全衛生サービスセンター四国支所

〒760-0017 高松市番町3-3-17第1讃機ビル2階北側  
TEL:087-861-8999

### 九州安全衛生サービスセンター

〒812-0008 福岡市博多区東光2-16-14  
TEL:092-437-1664

### 東京安全衛生教育センター

〒204-0024 東京都清瀬市梅園1-4-6  
TEL:042-491-6920

### 大阪安全衛生教育センター

〒586-0052 大阪府河内市長野市河合寺423-6  
TEL:0721-65-1821

※お問い合わせは



安全衛生に役立つさまざまな  
情報を発信しています



最新情報はWEBサイトをご覧ください。

<https://www.jisha.or.jp/>